

### インターンシップ

#### 山口県立田布施農工高等学校 環境土木科・参加生徒15名

井森工業(株)へ・松本龍大

1日目は、座学で土木についての話を聞き、その後田布施川流域下水道浄化センター反応タンク施設増設工事を見学させていただきました。減多に見ることができないという、2台同時にポンプ車を使う大がかりな工事を偶然にも見ることができ、その迫力に驚きました。

午後からは土質実験を見学させていただきました。農業鑑定にも出題されていたスランプコンが使われているのを見て、感動しました。スランプコンの中にコンクリートを入れて一気にコンを引き抜き、中に入れたコンクリートがどれだけグシャッと潰れるか確かめる試験や、重量の確認をしていました。運ばれてくるコンクリートが基準値を合格しているか確かめるこの作業を、朝と昼の一日二回も行って立っものを作り上げるために徹底されているのだなと思いました。

2日目は、久賀港海岸侵食対策工事第三区を見学させていただきました。久賀港海岸にあるブロックを増やして幅を広げるために、海上でチェックボーリング試験が行われていました。現場の方が黙々と作業をされている姿を見てとても感動しました。

会社の方々から丁寧なご指導をさせていただきました。とても楽しく充実した現場実習となりました。勉強の大切さも教えていただいたので、残りの学校生活もより一層努力していきたいと思えます。

(株)浜田組へ・田中理史  
1日目はまず、周防



#### 山口県立山口農業高等学校 環境科学科・参加生徒20名

池田建設工業(株)へ・木橋竜三

1日目は、熊ヶ追地区ため池工事を行っている現場に行きました。ここでは、斜面にかけてあったブルーシートの片付けをして、斜面の木や枝、土の取り除きをしました。そのあと、7月28日の豪雨災害のために、ため池の水路に流れてきた土を取り除きました。建設業は予想以上に大変で、とても体にくる仕事なんだと学びました。

2日目は、前日に行った現場で、トータルステーションによる測量をした後、嘉年にある十種ヶ峰に行き、災害縦横断測量をしました。嘉年に行くときの行き帰りで、先の豪雨災害の傷跡を見、会社に帰って、災害縦横断測量のデータをもとに、CADによる図の作成をしました。

3日目は、道路の舗装工事の見学や現場の測定、写真の撮影、看板などの回収をしました。何気なく見る道路の舗装工事を間近で見て、どのように舗装されているのかを学ぶことができました。

4日目は、あいにくの朝から雨が降っていたので、会社でCADによる図の作成の練習をしました。学校で使ったことのあるJWCADを使用して、試行錯誤をして作成しました。図の作成はとても難しく、ど



大島町沖浦  
西港河岸高  
潮対策現場  
を見学しま  
した。現場  
では捨石投  
入をしてい  
ました。こ  
の行程は、  
消波プロッ  
クの土台を  
置くためだ  
と教えてい  
た。昼から  
は、消波プ  
ロックを作  
っている

現場に行き、作り方を丁寧に教えていただきました。

2日目は、海での作業の仕方と、潮の高さの重要性について教えていただきました。潜水士が海に潜って作業をするとき、指示を海の中で行い、どこに土を入れるかなど様々な場面面で活躍しているということを知りました。

海での作業は潮の満ち引きが重要であり、時間を確認しながら潮の高さを考えて作業しているということも知りました。



(有)泉土木コンサルタント  
トへ・中光雅芳

1日目は、山口市佐山の北ノ江の池周辺をこの図でも、指定した数値を出すということが大変だということを知りました。

明和技術コンサルタント(株)へ・河野良亮

先日のゲリラ豪雨で河川の災害の現場である秋の須佐に生き、ポールを立て、被災した河川の横断面などの写真を撮りました。現場に行くと最初に驚いたことは、被災した河川でした。ひとつ踏み外せば、足場が崩れて河川に落ちてしまうような場所がたくさんあり、いつもこういう場所です仕事をしているというのを聞き、改めて驚きました。河川の水かさが減ったり増えたりするので、河川に入るのも危険でした。しかし、今回担当してくれた中村さんは、いとも簡単に河川に入り、ポールを立てていました。仕事に対する思いがすごいものなのだと感じました。



私には今回4日間行っただけでもきつかったのに、中村さん達は一月くらい前から猛暑の中、現場でこんな作業をしてきたことを聞くに圧巻の一言でした。また現場の須佐までは会社から2時間はかかっています。行き帰りで4時間車を運転して、夜まで作業をすることを考えると、正直今の私にはとてもじゃないけど無理だと思いました。自分の甘さがよくわかりました。私たちは学校に行き、座って授業を受けることができ、夜には家に帰っていることに比べるととても楽に感じてしまうほどでした。それくらい、仕事は大変だなということを感じました。

防長建設工業(株)へ・堤麗威  
インターンシップを終えてみて、感じたこととはまず、お金をかせぐことの難しさです。今回、4日間の間、一日も欠かさず工事現場に足を運ばせてもらったのは、すごく良い体験になりました。

工事現場では、ブルドーザー、ショベルカー、クレーン車、をはじめ様々な機械を使用している、つい先日小型フォークリフト講習で使用したのもあり、工事現場に親近感が湧きました。

山口大学実習  
棟A改修その他工事の現場では、工事現場の道具をあつかう人たちの表情や技術の高さに驚きました。それまでは、明らかにふるまっていた方も機械に乗るとその表情は一変し、真剣になっていました。また、安全の確認なども入念に行い繰り返し行っていました。

県鴻城高等学校防球ネット改修の現場へ連れて行ってもらった際は、機械を使って、30メートルもある防球ネットをつなぎとめている作業が、とても印象的でした。バックネットやブルペンを作るのに、深く大きな穴を開けて、測量機器を使用して、寸法をすごく細かく測り、図面どおりに、丈夫で強固な基礎をつくっており、基礎の大切さがわかりました。自分も囲いの中にコンクリートを入れる作業をすこしだけ手伝わせていただきましたが、パイプレータという振動を発生させる機械を使用して、コンクリートを固める作業でした。何回かに分けて、この作業を行うので大変な作業です。

4日間、とても充実した日々を過ごすことができました。



2日目は、本社の方から社会の厳しさや、コミュニケーション能力の大切さ、多くの情報を身につけ自分の力量を増やしていく事など、将来ためになる事を教えていただきました。今後の自分、今の自分をもう少し変えてみようと思いました。

共同産業(株)へ・岡崎巨乙

1日目は、仕事をやる上で注意すべきことや、様々な専門的な知識を教えていただきました。

「命綱は、付けたことを忘れて歩いたら引つかかって危ない」と教えていただいたのですが、作業をしているうちに教えられたことをすっかり忘れてしまい、十回くらいつまづいてしまいました。また、足場を歩いたり、上り下りしたりしているときに頭をぶつけて



しまし、「ヘルメットがあつてよかった!」と思うことが多々ありました。この時、仕事場の危険さとヘルメットのありがたさを改めて痛感しました。

2日目は周南市の「栄谷大橋耐震補強工事現場」に行き、その後富田の「6-9号線他街路築造工事現場」に行きました。その現場では光波距離計やレベルを使用した出張測量をしました。光波距離計は初めて使いましたが、丁寧に教えてくださり、使い方をとても早く習得することができました。

現場の方々は仕事を行う前に「危険予知活動表」を弔職、大工などで分担して現場の危険なところや、その対処法などを再確認して取り組んでいるというのを知り、命に関わる仕事は始まる前からしっかりとっているのだなと思いました。

今回の現場実習で現場の雰囲気も少しでも慣れることができました。この実習体験を進路決定に役立てたり、将来の職業で活かしていきたいです。

### 2013年度インターンシップ実施企業26社(参加生徒数 35名)

- 田布施農工高等学校 環境土木科
- 井森工業(株)
- (株)浜田組
- トオル電気(株)
- 末長建設工業(株)
- (株)大池組
- 兼本建設(株)
- 共同産業(株)
- (株)興洋建設
- 洋林建設(株)
- (株)錦測量事務所
- (有)泉土木コンサルタント
- (株)ソイル・ブレイン
- 山口農業高等学校 環境科学科
- 石山建設(株)
- 山口建設(株)
- (株)技工団
- シマダ(株)
- (株)宗像建設
- 池田建設工業(株)
- 成長建設(株)
- 澤田建設(株)
- 防長建設工業(株)
- 明和技術コンサルタント(株)
- (株)アサヒコンサル
- (株)リクチコンサル
- (株)山口建設コンサルタント
- (株)三建調査設計

※岩国工業高校は2014年2月に実施する予定です。